

## 目標達成計画

作成日：平成 22 年 9 月 17 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	運営推進会議を年に4回開催しているが、二か月に1回の開催は出来ていない。地域の方や、地域の高齢者の方々、利用者の家族の参加も増えつつある。議題の設定が難しく、継続性のある内容にしていきたい。	二か月に一度の開催を目指し、継続的な内容を年間を通して出来るようにしていきたい。また、内容については、参加者の要望や、家族の声を反映したい。	1)他のグループホームの議題も参考にしながら、参加者に関心のあるテーマ等を聞いていく。 2)ホームの中の人材、また、町内会の中の人材を生かした内容作りを考える。 3)年間6回の開催を目指して計画を立てる。	6ヶ月
2	5	心身の安全を第一に考えながら、家族の同意を得て、拘束をする場合があるが、最小限に出来るように色々な方法を検討している。玄関は、事故の危険を考え、施錠しているが、現在の職員数では、解放は難しい。	拘束の無いことはもちろんだが、命の危険が考えられる場合は、拘束の要件を満たしているかを十分に考え実施する。職員間の意思一致やモニタリングを徹底する。	身体拘束が必要なケースについては、ケース会議、家族の同意をとること、モニタリングをすることを第一とする。また、定期的に見直しをすることで、出来る限り、拘束の無い方法を考えていく。	6ヶ月
3	15	食事については、個々の状況に合わせている。高齢となり、改善していくことは難しいので、安全で、安楽に食べられる工夫を第一にしている。食事形態も多様になるため、色々な市販品も考えながら、楽しみのあるおいしい食事を目指している。	年々大変になる食事だが、口から安全に食べられることを目標に、そのための工夫をスタッフ間で考えていく。少しでも体力を落とさないために、栄養を充分にとれるようにしたい。食事前の雰囲気も大切にしたい。	食事形態の工夫(個々の状態に合わせる) 食事内容の検討(栄養をとるために) 水分量のチェック 食事前の話や歌で唾液の分泌を促すような取り組みをしていく。	2ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。